

奈良っ子はぐくみ基本方針の概要

1. 基本方針策定の趣旨

第2期奈良県教育振興大綱(令和3年3月策定)

奈良県教育が目指す方向性

本人のための教育

→ 一人ひとりの「**学ぶ力**」「**生きる力**」をはぐくむ

就学前教育に関する考え方

「**こころと身体**を子どもの成長に合わせてはぐくむ」をテーマに掲げ、「**就学前教育の充実**」と「**こころと身体のはぐくみ**」を施策方針に位置づけ

奈良っ子はぐくみ基本方針

位置づけ

保護者、保育者、地域で就学前教育に関わるすべての人の「**意識の共有と実践**」のためのガイドライン

内容

- (1) **就学前教育の目標、はぐくみの視点、「学ぶ力」「生きる力」を培う土台づくり**について、奈良県の考え方や方向性を整理
- (2) 就学前教育の総合的な展開方策を「**奈良っ子はぐくみプロジェクト**」として取りまとめ

策定経過(ワーキンググループによる検討)

【WG開催状況】 第1回(R3.3)、第2回(R3.5)、第3回(R3.8)、第4回(R3.11)

【WGメンバー】 人権保育研究会会長、保育協議会副会長、市町村指導主事(幼稚園担当)、市町村指導主事連絡協議会顧問(保育担当)等

策定 令和4年3月

2. 基本方針の内容

(1) 目標

乳幼児期は**心身の発達**が顕著であり、かつ、**非認知能力**獲得の効果が高い時期であり、子ども一人ひとりの可能性を最大限に拡げることができるよう、「**学ぶ力**」「**生きる力**」の土台を築くことが重要

「**学ぶ力**」「**生きる力**」の3つの土台のはぐくみ
「**自己肯定感・自尊感情**」「**他者への寛容なこころ**」「**健やかな身体**」

(2) はぐくみの視点

- ① 子どもを**権利の主体**として捉え、**子どもの権利を保障**する
- ② 多様な個性を尊重し、「**ともに育ち合う**」**インクルーシブ保育**を実践する
- ③ 社会の大切な一員として「**奈良っ子**」をはぐくむ

(3) 「学ぶ力・生きる力」を培う土台づくり

実践するはぐくみのポイント

3つの土台	はぐくみのポイント
①自己肯定感・自尊感情	・子どもの存在を愛情豊かに受け入れ、信頼感をはぐくむ。 ・子どものやってみたい気持ち、やり遂げたい気持ちを大切にする。等
②他者への寛容なこころ	・友達と交流し、互いの良さや考え方の違いに気づくよう働きかける。 ・大人が自ら他者への思いやりのある行動を行うモデルになれるよう努力する。等
③健やかな身体	・子どもが進んで体を動かそうとする意欲をはぐくむ。 ・自然や生き物と触れ合う体験の充実。・食べる喜びを育てる。等

(4) 奈良っ子はぐくみプロジェクト(県の取組)

展開方策

- ① **ツール作成・普及**
・就学前教育プログラム「はばたくなら」
・「実践事例集」、漫画冊子「はばたきの詩」等
- ② **人材育成**
・施設類型を超えた研修
・アドバイザーによる園所の支援 等
- ③ **多様な場での展開**
・なら歴史芸術文化村におけるアート・音楽プログラム
・まほろば健康パークの機能強化 ・こども食堂 等

重点テーマ

- ① **自然保育**
自然を満喫し、自然に感動する保育
- ② **インクルーシブ保育**
障害がある子どももいない子どももともにはぐくむ
- ③ **食育の推進**
食べる喜び、楽しさを感じる保育